

国
語注
意

1. 監督者の合図があるまでは問題冊子と解答用紙を開かないでください。
2. 別紙の解答用紙は、マークシート解答用紙と記述解答用紙とに分かれています。指定された解答欄をまちがえないように注意してください。マークシート解答欄の余白は使用しないでください。
3. マークシート解答用紙は直接コンピューターにかけますので、折りまげたり、よごしたりしないでください。また枠で囲まれた部分以外には記入しないでください。
4. マークシート解答用紙にマークするときは該当する○にはつきりとマークしてください。
マークのしかた (良い例) ●
(悪い例) ○ ⊗ ⊙ ⊖
- (万年筆、ボールペンなどは使用してはいけません)
5. マークシート解答用紙に誤ってマークした場合には、消しゴムで跡が残らないようにしていねいに消し、消しかすをきれいに払ってください。
6. 試験開始後、マークシート解答用紙には氏名、受験番号を記入し、さらにその番号をマークしてください。なお、受験番号を記入するときにはマークシート解答用紙の〔受験番号記入上の注意〕をよく読んで、まちがいのないようにしてください。
7. 記述解答用紙には、氏名、受験番号を記入してください。
8. 試験問題はこの冊子の十ページに記載されています。
9. 問題冊子の余白部分は、メモとして利用して構いません。
10. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

I 次の文章を読み、後の問に答えよ。

子どもたちの食事はどうあるべきか、どう変えるべきか。真剣勝負を挑んでいる女性がいる。

北海道東部にある人口三〇〇〇人ほどの小さな町、置戸町おけとちようの管理栄養士、佐々木十美とみさん。佐々木さんは、じつに四〇年にわたり「学校給食」に関わってきた。毎日の献立を考え、六人の調理員に指示を出し、市内の小中学生二五〇人分の給食を作る。

ふだんはニコニコした笑顔がチャーミング。だが、白衣に着替え調理場に入ったとたん、佐々木さんの目つきは変わる。小柄な体で縦横無尽に調理場のなかを飛び回り、てきぱきと調理員たちに指示を出していく姿は、
得のいくまで何度も味見を繰り返し、妥協は絶対に許さない。

パン箱のフタを開けると、焼きたての香ばしいにおいが教室中を包む。手作りパン。

ニンジンやピーマン、玉ねぎなど、旬の野菜をふだんに盛りこんだ色鮮やかなッかき揚げ。

一食二五〇円という厳しい制約のなか、食材の産地や調味料に徹底的にこだわリ、一年を通して同じメニューを出すことはほとんどない。そんな佐々木さんの給食は、雑誌の特集で日本一にも輝いた。

なかでも名物は、オリジナルのカレー。十九種類のスパイスを炒め、三週間寝かせて作るカレーは、ちょっと辛口だが、生徒たちは汗をかきながらペロリとたいらげる。食欲旺盛な六年生がおかわりを求めて、大挙して一年生の教室に押しかける。この光景は、小学校の「名物」にもなっている。

佐々木さんの信念は、「子どもたちに、できるだけ多くの味の体験をさせること」だ。

「小さいときからいろんなものを食べておくと、大人になって何か食べ物を買うときに、『そういえば！』って思い出してくれるかもしれないじゃないですか。『給食であのとき、あんまりおいしくなくて思ったけど、大人になって食べたらけっこうおいしいじゃないか』でも良いんです。そういうふうに思い出してもらいたい。そのために、いろんな食べものをたくさん食べてほしいと思ってるんです」

2B

佐々木さんは、子どもたちが苦手な野菜の定番、ピーマンやニンジンはもちろん、酢の物や和え物あも毎日のように出す。食べ残しの量が多くても、くじけずに何度も出し続ける。最初はまったく食べられなくても、根気よく出し続けていると一口、二口と食べられるようになるという。

4

あるとき、献立作りに悩む新人栄養士に、佐々木さんはこんな言葉を伝えていた。

お皿のなかに、作り手の気持ちって絶対入るんですよ

「おいしそうって、ちょっとワクワクするでしょ。この気持ち大事。この気持ちも、ちゃんと献立のなかにこもる。作るときレシピにもこもる。作る人たちにもこもる。子どもたちにまで通じる。そんな思いで、献立を考えるとおいしいものができる」

佐々木十美さんは、名前のとおり一〇人兄弟の末っ子。六歳のとき父を亡くした。家は貧しかったが、母は手を尽くしておいしい料理を食べさせてくれた。そんな母の影響を受け、佐々木さんは次第においておいしい料理づくりに興味を持つようになった。

ずっと働き続けるために資格をとりたと思った佐々木さんは短大に進み、栄養士の資格をとる。そして、生まれ故郷の置戸町の学校給食センターに就職した。

当時の町内の生徒数は、小中学校をあわせ一五〇〇人以上。給食作りは多忙をきわめ、毎日お昼までに全員分を作り終えると、脱力して何も考えられないほど疲弊ひげいした。

ある日、配膳室注に返ってきた食缶を見た佐々木さんは、衝撃を受けた。なかにあったのは、ブヨブヨに伸びきった、冷えきった大量のうどんだった。

「愕然がくぜんとしたというか、私はこういう仕事をしてはいけないって思ったんです。給食を出してしまえばホツとして終わり、そ

んな感じだったんですが、そうじゃないと。『おいしかった』という子どもたちの答えをしつかり聞かないといけない。給食を作るだけでは私の仕事は終わらないって思ったんです」⁵

佐々木さんは、試しに麺とスープを別々に出してみた。すると、食べ残しはみるみるうちになくなった。手間は増えるが、ちよつとした工夫で子どもたちに給食を食べてもらえる。佐々木さんは、すべてのメニューを一つひとつ見直すようになった。大量に手早く調理するため食材に入っている化学調味料や食品添加物から、子どもたちを守りたいとも思った。そのため、味噌汁の出汁を煮干しでとり、味噌は大豆から手作りした。調味料も添加物が入っていないものにすべて買い替えた。しかし、替えた当初、子どもたちからの評判はけっして良いものばかりではなかった。

「味が薄くなった」「変な味がする」。そんな声を聞くと、佐々木さんは「これも子どもたちのため。次はどうすればおいしいと言ってもらえるだろう」と、レシピや味つけの試行錯誤を繰り返した。

そんなとき、丹念に仕上げた手作りのパンが、食べかけの状態で給食室に返ってくることがあった。なぜだろう。そう思った佐々木さんは、給食の時間になると教室に出向き、子どもたちと一緒に給食を食べながら、その様子をじっと観察した。

そして、気づいた。

⁶「コンビニやファストフードなどの食べ物に慣れ、おいしいと感じるものの幅が狭まっているのではないか？」子どもたちの毎日の給食を作っている自分に、できることは何だろう？

佐々木さんは自問自答した。食べてくれるようにわかりやすい味にすることは簡単だが、ほんとうにそれで良いのか。給食を通して、子どもたちに食べ物豊かな世界を知ってもらいたい。そのことが、将来きつと役に立つ。

(NHK「プロフェッショナル」制作班『プロフェッショナル仕事の流儀 運命を変えた33の言葉』より)

注 食缶 学校給食などで、調理済みの料理を入れて保温しながら運搬するための金属製の容器。

問一 傍線部1「縦横無尽」ともつとも近い意味の四字熟語を次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート a)。

- ① 右往左往 ② 一往一來 ③ 自由自在 ④ 韋駄天走 いだてんばしり ⑤ 東奔西走

問二 空欄2 Aと2 Bそれぞれに入る語のもつとも適切な組み合わせを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート b)。

- | | | | | |
|---|-----|------|-----|------|
| ① | 2 A | いわば | 2 B | とはいえ |
| ② | 2 A | あたかも | 2 B | 一方 |
| ③ | 2 A | まさに | 2 B | だから |
| ④ | 2 A | さながら | 2 B | しかし |
| ⑤ | 2 A | くしくも | 2 B | そのため |

問三 傍線部3「大挙して」の説明としてもつとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート c)。

- ① 大きな足音を立てて ② 大勢で一度に
- ③ 次々に途絶えることなく ④ 気迫に満ちた様子で
- ⑤ 大きな体を遠慮がちに縮めて

問四 空欄4に入るもつとも適切な文を次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート d)。

- ① なぜ、大人になると味覚が変わるのか
- ② なぜ、それほど食べ残が多いのか
- ③ なぜ、そこまで手間をかけるのか
- ④ なぜ、苦手な物を克服させないといけないのか
- ⑤ なぜ、管理栄養士になろうと思ったのか

問五 傍線部5の説明として、もっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ（解答欄はマークシート e）。

- ① 麺とスープは別々に出すという子どもたちのアイディアを取り入れる必要がある。
- ② 子どもたちの好き嫌いを十分に把握する必要がある。
- ③ 給食に対するアンケートを実施する必要がある。
- ④ 子どもたちの給食に対する反応に敏感である必要がある。
- ⑤ おいしいと感じるものの幅を広げる必要がある。

問六 傍線部6に「コンビニやファストフードなどの食べ物に慣れ、おいしいと感じるものの幅が狭まっている」とある。この見解に対してあなたはどうか考えるか。経験や知識をふまえ、記述解答用紙のI 6に五十字以上百字以内で記せ（句読点も一字に数える）。なお、解答には「なぜなら」の語を必ず用いること。

Ⅱ A 次の1～3の（ ）内のカタカナを漢字に直し、4～6の（ ）内の漢字の読みをひらがなで記せ（解答欄は記述解答用紙Ⅱ1～6）。

- 1 大型旅客船の（シンスイ）式がおこなわれた。
- 2 人事（コウ）課では、公平性の確保が重要だ。
- 3 このチームは国内（クッシ）の強豪だ。
- 4 両社の合意によつて債務を（相殺）することができた。
- 5 学歴（偏重）の社会を今こそ見直すべきだ。
- 6 商売（敵）に先を越される。

Ⅱ B 次の7～10の（ ）内のカタカナと同じ漢字が当てはまるものを①～⑤からひとつ選び、その数字をマークせよ（解答欄はマークシート f i）。

- 7 業界における官僚との（ユ）着の問題は、根深いものがある。
① 「ユ」脂 ② 治「ユ」する ③ 小学校教「ユ」 ④ 名前の「ユ」来 ⑤ 「ユ」快
- 8 援助を打ち切られて悲（タン）にくれた。
① 「タン」絡的 ② 落「タン」する ③ 「タン」願書 ④ 加「タン」する ⑤ 「タン」求心
- 9 ミュージシャンたちが即（キヨウ）で演奏しはじめる。
① 需要と「キヨウ」給 ② 「キヨウ」悪犯 ③ 徒「キヨウ」走 ④ 景「キヨウ」感 ⑤ 余「キヨウ」
- 10 雑誌に論文を（キ）稿する。
① 当然の「キ」結 ② 「キ」礎 ③ 「キ」画書 ④ 「キ」宿舍 ⑤ 人体「キ」官図

Ⅲ 次の文章を読み、後の問に答えよ。

世に越後の七不思議と称する其一ツ蒲原郡妙法寺村の農家炉中の隅石臼の孔より出る火、人皆奇也として口碑につたへ諸書に散見す。此火寛文年中始て出しと旧記に見えたれば、三百余年の今において絶る事なきは奇中の奇也。天奇を出す事一ならず、おなじ国の魚沼郡に又一ツの奇火を出せり。天公の機状かの妙法寺村の火とおなじ事也。彼は人の知る所、是は他国の人のしらざる所なればここに記して話柄とす。

越後の国魚沼郡五日町といふ駅に近き西の方に低き山あり、山の裾に小溝あり、^{注一}天明年中二月の頃、そのほとりに童どもあつまりてさまざまな戯をなして遊倦、木の枝をあつめ火を焚てあたりをりしに、其所よりすこしはなれて別に火燄々と燃えあがりければ、児曹大におそれ皆々四方に逃散けり。その中に一人の童家にかへり事の仔細を親に語けるに、此親心ある者にてその所にいたり火の形状を見るに、いまだ消ざる雪中に手を入れるべきほどの孔をなし孔より三四寸の上に火燃る。熟覧おもへらく、これ正しく妙法寺村の火のるゐなるべしと火口に石を入れてこれを消し家にかへりて人に語ず、雪きえてのち再びその所にいたりて見るに火のもえたるはかの小溝の岸也。火打をもて発燭に火を点じ試みに池中に投げいれしに、^{注二}池中火を出せし事庭燎のごとし。

4

に火燃るは妙法寺村の火よりも奇也として駅中の人々来りてこれを視る。そののち錢に才人かの池のほとりに混屋をつくり、^{注四}篲を以て水をとるがごとくして地中の火を引き湯槽の竈に燃し、又燈火にも代る。池中の水を湯に沸し篲を以て浴せしむ。此湯硫黄の氣ありて能疥癬の類を治し、一時流行して人群をなせり。

按に、地中に水脈と火脈とあり、地は大陰なるゆゑ水脈は九分火脈は一分なり。かるがゆゑに火脈は甚稀也。地中の火脈凝結ところかならず氣息を出す事人の氣息のごとく、肉眼には見えず。火脈の氣息に人間日用の陽火を加ればもえて焰をなす、これを陰火といひ寒火といふ。寒火を引に篲の筒の焦ざるは、火脈の氣いまだ陽火をうけて火とならざる氣息ばかりなるゆ

ゑ也。陽火をうくれば筒の口より一二寸の上に火をなす、ここを以て火脈の氣息の燃るを知るべし。妙法寺村の火も是也。是余が發明にあらず、古書に拠て考得たる所也。

(鈴木牧之『北越雪譜』より)

注一 小溝 小川。

注二 発燭 付けぎ 付け木。木片の先に硫黄を塗りつけたもの。火を移し点じる時に用いる。

注三 庭燎 にわび 庭火。特に、神事の際に庭で焚くかがり火。

注四 笕 かけひ 地上にかけ渡して水を導く装置。

注五 疥癬 しつ 疥癬 ダニ等によつておこる皮膚病。かいせんともいう。

注六 陽火 ほんのひ 火。

問一 傍線部1「彼は人の知る所」とあるが「彼」は何を指すか、もつとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答

欄はマークシート(j)。

① 越後の七不思議

③ 石臼の孔より出る火

⑤ 妙法寺村の農家

② 天公の機状

④ 魚沼郡の奇火

問二 傍線部2「事の仔細」とはどのような内容か、もっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート k)。

- ① 農家の隅にある石臼の穴から火が出たこと。
- ② 小川で遊んでいたところ、焚き火が燃え広がり逃げてきたこと。
- ③ 石臼の穴より出る火が、魚沼郡五日町まで燃え広がってきたこと。
- ④ 小川で遊び、焚き火をしていたところ、その近くで火が燃え始めたので逃げてきたこと。
- ⑤ 小川のほとりで、雪中から火が出ているところを目撃したこと。

問三 傍線部3「心ある」の文中での意味として、もっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート l)。

- ① 純粹である ② 思慮深い ③ 思いやりがある ④ 口さがない ⑤ 気難しい
- ① 地上 ② 水上 ③ 地下 ④ 雪下 ⑤ 石上

問四 空欄4に入る言葉として、もっとも適切なものを次からひとつ選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート m)。

問五 傍線部5「銭に才人^{かしき}」とあるがなぜか、もっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート n)。

- ① 温泉を独占して温泉宿を営み、一財産をなしたから。
- ② 発見した温泉の効能がとも良く、人が群れをなして訪れたから。
- ③ 小川の水を使って湯を沸かし火を灯して環境を良くしたから。
- ④ 小川から湯を引いて、温泉として経営したから。
- ⑤ 発見された火を利用して沸かした温泉を経営したから。

問六 傍線部 6「氣息」とは今でいう天然ガスのことだと考えられる。天然ガスが発火する現象に関する次の説明文について、空欄にあてはまる文中の言葉を記述解答用紙のⅢ 6 に答えよ。

地中にある

が出す氣息に火がついて燃える現象